

鍼灸科

臨床演習・実習 4

対象	3年次	開講期	通年	区分	必	種別	実習	時間数	45	単位	0
担当教員	山下俊樹、宇南山伸、宮本陽平、大下裕之、奥山夕記子、	実務経験	有	職種	鍼灸師						

授業概要

3年間で学習した知識や習得した実技能力を使い、病態把握から治療、生活指導までを総合的に診ることができる様になることを目的とした授業である。また医療人として必要な言葉使いや身なり、そして心構えなど、患者を施術するうえで技術能力以外の重要な部分を身につけることをめざす。

到達目標

臨床演習・実習では、的確な問診や検査を行い正しく患者の病態把握が出来るようになる事。それをもとに適切な治療方針を立てられる事。そしてそれに対して正確な治療が出来る事を到達目標とする。また治療後の経過に対応し柔軟な治療計画の変更が出来るようになることも重要である。

授業方法

臨床実習の趣旨を理解し、協力の同意を得られた愁訴のある患者に対し、3～4人が1グループとなり片柳学園附属鍼灸院にて一人の患者に対し計7回の施術を行う。施術終了後はカンファレンスを行い、実習内容の振返りと次回の施術に向けた施術計画を立てる。そして7回の施術終了後には一連の施術内容をまとめ症例検討会を実施し症例報告を行う。

成績評価方法

実習課題への取り組みを総合的に評価する。振り返りのレポートを評価する。研修への参加態度を評価する。実習課題への取り組みを総合的に評価する。振り返りのレポートを評価する。研修への参加態度を評価する。

履修上の注意

授業日数の4分の3以上の出席は必須である。講義時間に無連絡で20分以上遅れた場合、受講はできるが出席の扱いをしない。明確な理由が無い早退は出席したとは認めない場合がある。課題は、本科の規則に従った形式で提出する。特定の指示が有る場合を除いて、手書きでの作成を原則とする。

教科書教材

特に使用しないが、はり実技、灸実技、診察学応用などで使用した資料など、必要と思われるものを適宜準備する。

回数	授業計画
第1回	オリエンテーション
第2回	第1回施術とカンファレンス
第3回	第2回施術とカンファレンス

第 4 回	第 3 回施術とカンファレンス
第 5 回	第 4 回施術とカンファレンス
第 6 回	第 5 回施術とカンファレンス
第 7 回	第 6 回施術とカンファレンス
第 8 回	第 7 回施術とカンファレンス
第 9 回	全施術のまとめ
第 10 回	症例報告資料の作成①
第 11 回	症例報告資料の作成②
第 12 回	症例検討会